

平成21年度第3回兵庫県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成21年11月19日(木) 兵庫県庁 1号館12階 会議室		
委員	根岸 哲 (甲南大学法科大学院教授) 西畑 彰夫 (公認会計士) 木村 治子 (弁護士) 小西 庸夫 (元兵庫県代表監査委員)		
審議対象期間	平成21年7月1日～平成21年9月30日		
議案1 入札及び契約手続の運用状況等の報告			
議案2 抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議			
抽出等案件			総件数 9件
公募型一般競争入札			2件
制限付き一般競争入札	4件		
指名競争入札	2件		
随意契約	1件		
	質問・意見	回答	
委員からの質問・意見 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	なし		

	質 問	回 答
1	<p>入札及び契約手続の運用状況等の報告 H21.7.1～9.30の入札・契約状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西播磨県民局の契約金額が41億と非常に高いが、台風関連工事の影響か。     予算はどのように措置するのか。来年度以降も予算配分の際、重点地域となるのか。</li> <li>・ 但馬県民局は、工事契約金額が突出しているのみならず落札率95%以上の工事が常時二桁で20%近い。西播磨県民局のような災害の緊急工事（随意契約）を含まず高落札率であるのは問題ではないか。</li> <li>・ 指名停止については、本来業務の工事に何らかの形で関係があるものに限定するのが望ましいと思う。政治資金規正法の違反行為等で、事業者にもやみに制裁を加えていないか検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風9号の被害による災害復旧工事の影響である。佐用町で集中的に工事発注した。</li> <li>・ 直ちに補正対応した。来年度以降についても、国の災害査定を受け、国庫の補助も受けつつ、復旧工事を継続していく。</li> <li>・ 制限付き一般競争入札の導入等で、徐々に落札率は低下してきている。</li> <li>・ 公契連モデルに準じて、兵庫県指名停止基準を設けている。社長が政治資金規正法違反行為等により同法違反容疑で逮捕された案件については、同基準の規定に該当し、県の工事を受注するのにふさわしくない行為であると判断している。</li> </ul>
2	<p>抽出した工事に係る入札及び契約手続き等の審議</p> <p>(1) 制限付き一般競争入札：県土整備部（設備課）発注 「県立農林水産技術総合センター太陽光発電設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回設置した機器等は、汎用性はあるのか。汎用性があれば入札価格は下がってくると考えられるが、落札者以外は、予定価格超過及び辞退となっている。     どのような理由が考えられるのか。</li> </ul> <p>(2) 公募型一般競争入札：阪神南県民局（西宮土木事務所）発注 「武庫川上流浄化センター 汚泥濃度調整槽電気設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札参加見込対象者数17者が、結果的に1者のみの応募となっている。どのような原因が考えられるのか。</li> </ul> <p>(3) 制限付き一般競争入札：北播磨県民局（加東土木事務所）発注 「西脇八千代市川線 河川付替工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合評価落札方式を採用した当該工事は、結果的に評価項目のうち「過去2年間の工事成績評定点の平均点」の差が決め手となった。評価項目についてはよく洗練されてき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汎用性はある。     昨今、太陽光発電設備工事が非常に増加しており、太陽光パネルの在庫も非常に少なくなっている。     メーカーの在庫調整等により価格差がみられる。     県発注の他の太陽光発電設備工事においても、一般的な電気工事より落札率が高くなっている。</li> <li>・ 汎用性があるため競争性を求めたが、既存の設備に新たなものを継ぎ足すのは技術的に難しいところがあり、当初導入時のメーカーが有利となったようである。</li> <li>・ 評価項目・配点については、土木技術を専門とする学識者の意見を反映させており、企業の技術力等を評価している。</li> </ul>

	<p>ているが、県の工事の受注実績のない新規参入業者を排除することにならないよう希望する。</p>	
(4)	<p>随意契約：西播磨県民局（光都土木事務所）発注 「河川災害緊急復旧工事（その1）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急な災害復旧工事の場合は、通常の随意契約と違った手続き方法をとっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土木事務所毎に災害応急対策業務に係る協定を結んでおり、それに基づき業者選定・出動要請している。災害現場にて復旧内容を指示 実績の数量報告 県が設計書（設計図書）作成 見積書徴収 という手順で随意契約する。</li> </ul>
(5)	<p>制限付き一般競争入札：但馬県民局（新温泉土木事務所）発注 「香住村岡線 境バイパス1号橋下部工（P2、P3）工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落札業者以外は予定価格超過となっているが、予定価格以下でないとして評価対象にならないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格と最低制限価格の間に入札を評価の対象としている。</li> </ul>
(6)	<p>指名競争入札：丹波県民局（篠山土地改良事務所）発注 「篠山地区 吹頭首工改修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指名業者のうち7者も辞退している。どのような理由が考えられるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業用ゲートはある程度専門性もあり、県外・県内問わず過去の実績のある業者を12者選定した。工事の規模・工事場所等勘案し、結果として辞退が多くなると推測される。</li> </ul>
(7)	<p>公募型一般競争入札：企業庁（情報公園都市建設事務所）発注 「ひょうご情報公園都市5号調整池工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低入札価格調査を実施しているが、どうだったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業者から、入札額決定理由書等必要書類を徴し、調査した結果、本入札価格をもって本工事を設計どおり施工することは可能と判断したため、落札決定した。</li> </ul>
(8)	<p>指名競争入札：企業庁（北摂広域水道事務所）発注 「2系場内無停電電源装置更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞退が多いが、どのような理由が考えられるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は、蓄電池盤・整流器盤・インバータ盤・分電盤といった盤を新規製作する工事であるが、バッテリーは2007年に更新したばかりでこれを流用する。技術的には、製作は可能であるが、他社のバッテリーの調査が必要等で敬遠されたと推測される。</li> </ul>
(9)	<p>制限付き一般競争入札：教育委員会（県立考古博物館）発注 「浜坂道路 128 地点他発掘調査工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格と非常に近い高落札率であるが、どのような理由が考えられるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準的な埋蔵文化財の発掘工事は、機械で地面から遺跡が含まれると思われるところまで掘ったあと、人力で掘っていくという手順であるが、当該工事場所は、山の上で機械が搬入できないため、人力のみの発</li> </ul>

		掘作業で設計が単純となるので業者側も積算しやすかったと考えられる。
その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について ・今回は、無かった旨、事務局より報告。		